

とちぎ肝疾患コーディネーター通信



令和6（2024）年3月29日 第9号

栃木県では、栃木県肝疾患コーディネーターの皆様へ肝炎に関する情報を提供するために、「とちぎ肝疾患コーディネーター通信」を発行しています。御一読いただき、患者さんの支援に役立てていただけますと幸いです。

肝疾患コーディネーターの更新制の導入について

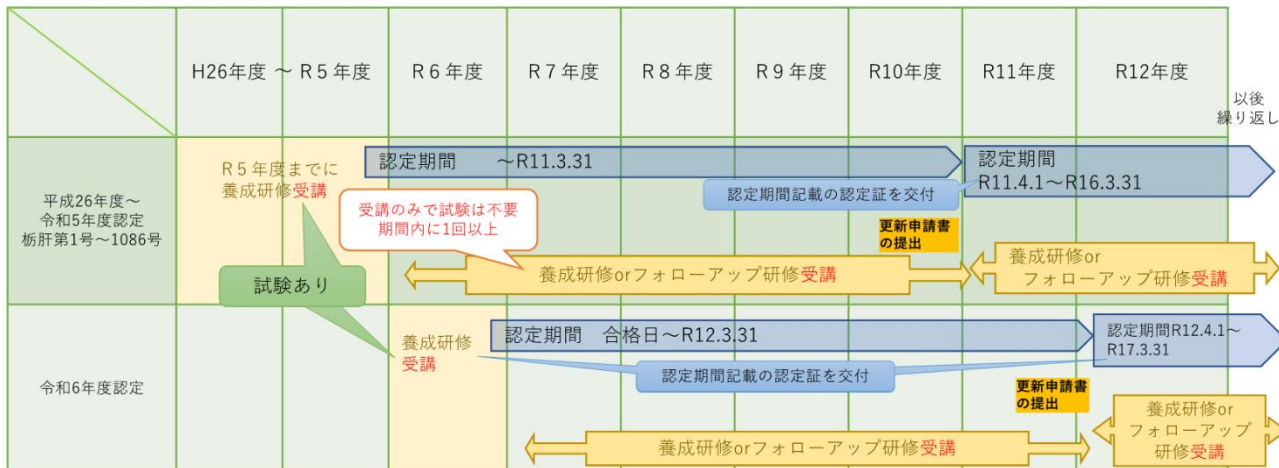
県では、肝疾患コーディネーターのスキル保持と円滑な活動支援を目的とした認定の更新制の導入等、令和6年4月1日から「栃木県肝疾患コーディネーターの養成及び活用に関する要綱」の一部を以下のとおり改正します。

「栃木県肝疾患コーディネーターの養成及び活用に関する要綱」の主な改正点

別紙

- 1 認定期間を認定を受けた日から5年となる日の属する年度の末日（3月31日）までとする更新制を導入（第6条）
- 2 コーディネーターの配置先に関する条項を追加（第4条）
- 3 コーディネーターの登録内容の変更に関する届出についての条項を追加（第9条）
- 4 コーディネーターの活動状況の報告に関する条項を追加（第10条）

コーディネータ更新の考え方



※1 養成研修or
フォローアップ研修受講の期間に養成研修又はフォローアップ研修を1回以上受講し、県に対し更新申請の提出があった場合、認定期間を5年延長します。（更新申請がない場合、認定を取り消します。）

※2 登録名簿から削除後、改めて認定研修を受講（試験あり）することは可能です。この場合は、新規登録となります。

令和5年度までに認定を受けたコーディネーターの皆様は、ぜひ対象の期間内（令和6年度から令和10年度）に養成研修又はフォローアップ研修を受講していただきますようお願い申し上げます。なお、令和6年度の研修の実施については改めてお知らせいたします。

肝疾患コーディネーターの養成について

令和5年10月15日に肝疾患コーディネーター養成研修会を開催し、85名の方を新たに肝疾患コーディネーターとして認定しました。本研修会は、平成26年度から開始し、累計1,086名の方を肝疾患コーディネーターとして認定しています。

認定されました皆様には、今後も肝炎に関する情報提供を行いますので、引き続き、肝炎に関する普及啓発や患者様の支援をよろしく申し上げます。

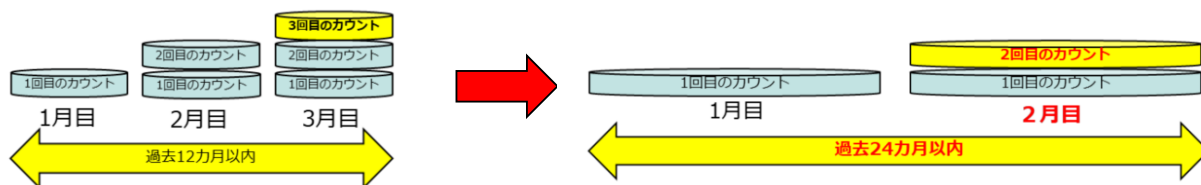
「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業」の見直しについて

平成30年12月から、B型、C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変治療への医療費助成を実施していますが、令和6年度から以下の内容で事業の見直しが行われます。

- 「過去12か月で高額療養費の限度額を超えた月が3月目から助成対象」としていたものを「過去24か月で2月目から助成対象」に変更

◆助成要件の緩和

高額療養費の限度額を超えた月が過去12ヶ月で3月目 ⇒ 過去24ヶ月で2月目から自己負担額1万円

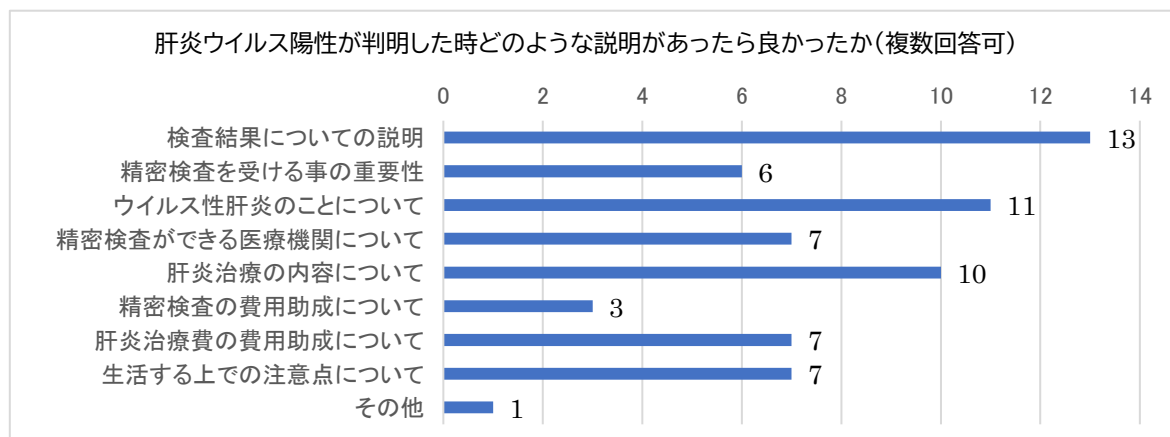


申請件数が少ない状況にあることから、栃木県としても更なる周知に取り組んで参りますので、コーディネーターの皆様にも事業の周知等、引き続き御協力をお願いします。

肝疾患コーディネーターに関するアンケート結果【栃木肝臓友の会】

患者の皆様が肝疾患コーディネーターに対して、具体的にどのような活動を求めているかを把握し、今後の活動の参考とするため、栃木肝臓友の会の会員の皆様に御協力いただき、令和5年12月にアンケートを実施しました。(34名中18名回答)

今回はその中から抜粋した結果を掲載します。今後の支援活動の参考としてください。



自由意見欄

これまでの肝炎治療等を通じて、困ったこと、不安に思っていること、相談したかったこと等

肝炎治療でウイルスがなくなったが、再燃したとき新しい治療が待てるかどうかとても不安になった。その上、他のがんになり、その治療と新しい肝炎治療が重なったときに、相談できる方がいれば良かった。

専門医が治療途中で退職して別の医師に紹介されたが3週間あいたためその間に再燃した。もう一度、別の医療機関へ自ら行き、初めから治療を行うことになったので、医師間での連携が図られると良かった。

5歳刻みの市の検診でC型肝炎陽性が判明した。5歳刻みでなく希望受検できる体制であれば、もっと早く治療を開始できたと思う。

長い間、他の肝臓病患者の知り合いがいなかった。病友は互いに励まし合えるのでいた方がいいと思うが、知り合う機会は少ないと感じる。

その他、肝疾患コーディネーターについての御意見

患者さんに寄り添って話を聞くことは大変なことだと思うが、患者にとって共感してもらったり、同じ病気を経験されたコーディネーターがいると安心して治療を続けられると思う。

患者の不安を取り除くため、担当医師と患者の間に立って情報を共有出来る相談相手が一番必要ではないか。

肝疾患コーディネーターがどのような活動をしているのかわからない。もっとPRが必要だと思う。

養成研修会は1日の研修なので、これだけで患者等の前で肝疾患コーディネーターと名乗るのは難しいと思う。研修の後に、今後さらに一歩進めて各職種で何が出来るか、意見交換の機会があるといいと思う。コーディネーターは職場に戻った後、そこで何が出来るか他のコーディネーターと話し合ってほしい。

肝疾患の悩み事を気軽に相談できる電話相談窓口やインターネット相談窓口があると良い。

栃木県の肝炎に関する情報は、栃木県ホームページに掲載しています。

URL : <https://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/welfare/hoken-eisei/kansen/kanen.html>

栃木県 肝炎に関する情報

検索 

発行 栃木県保健福祉部感染症対策課
感染症対策担当
TEL : 028-623-2834
FAX : 028-623-3759
Mail : kantai@pref.tochigi.lg.jp